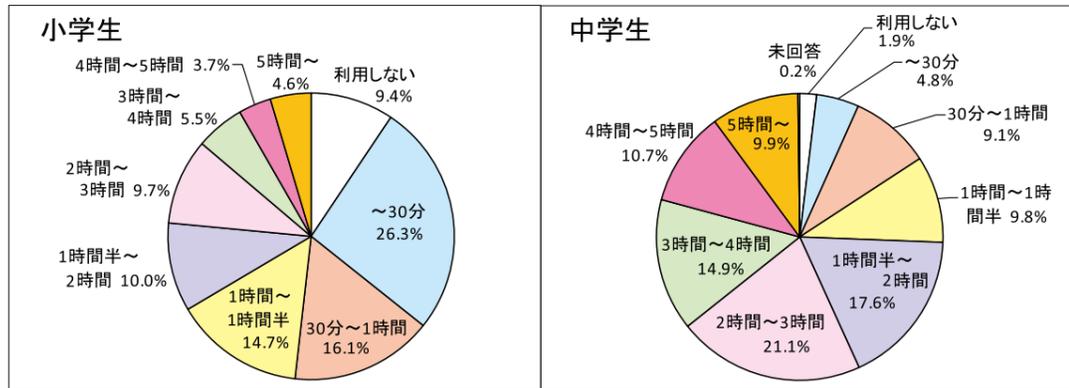


平日1日の利用時間



1日どれくらい使っているの？

気をつけたい

家族という時間の
スマホ利用

小学生の59%、中学生の48%が、家で家族という時もスマホを使うと回答しています。家族の中での会話が少なくなっていますか。子どもと一緒にいる時、スマホを手元に置いていませんか。スマホから一旦離れて、家族で過ごす時間を大切にしましょう。

目標は1日2時間以内
市では、平日1日のスマホやゲームなどの利用時間を、2時間以内にすることを定めています。1日2時間以上利用すると答えた子どもの割合は、小学生23%、中学生56%で、中学生では半数を上回る結果となりました。
また、スマホなどを利用する時間帯について、「家で一人である時間」と並んで「家で家族という時間」が小中学生とも多く、中学生では、「深夜（午後11時以降）」「登校前」がいずれも20%を超えました。

家族で話そう
子どものスマートフォンの使い方

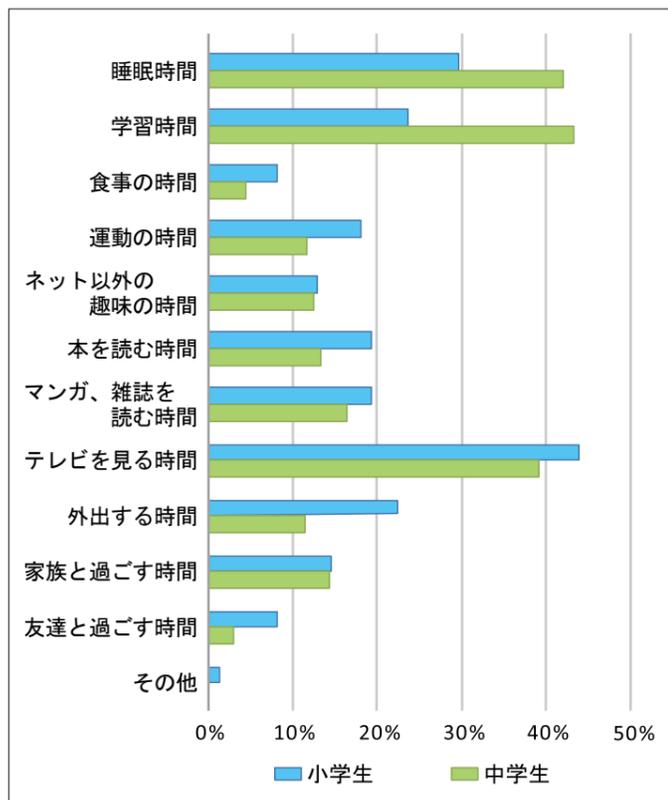


大人だけでなく、子どもたちにも急速に普及しているスマートフォン。便利になった一方で、スマートフォンへの依存や、インターネット上でのトラブルの増加などが問題になっています。市では、子どもたちへの指導や保護者への啓発に生かすため、平成27年度から市立の小学5年生と中学2年生を対象に、子どもたちのスマートフォンや携帯電話（以下スマホなど）の利用状況の調査を行っています。

調査結果から、スマホなどの使い方について、家族で一緒に考えてみましょう。

図学校教育課 ☎32-2115

何の時間が減った？



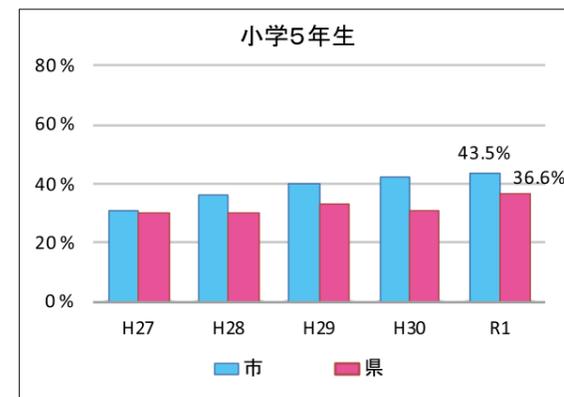
減った時間がある子ども
小学生 26%
中学生 37%
睡眠や学習の時間が犠牲に
減った時間があると答えた子どものうち、小学生で20%以上、中学生で40%以上の子どもが、睡眠や学習の時間が減ったと回答しました。

スマホなどを使うために
減った時間はある？

スマホ中心の生活に
小中学生とも「テレビを見る時間が減った」と答えた子どもが多かったです。
スマホは好きな時に好きなだけ利用できるため、「午後9時からテレビが見たいから、宿題や入浴は始まるまでに済ませよう」など、メリハリのある過ごし方をしにくくなっているようです。

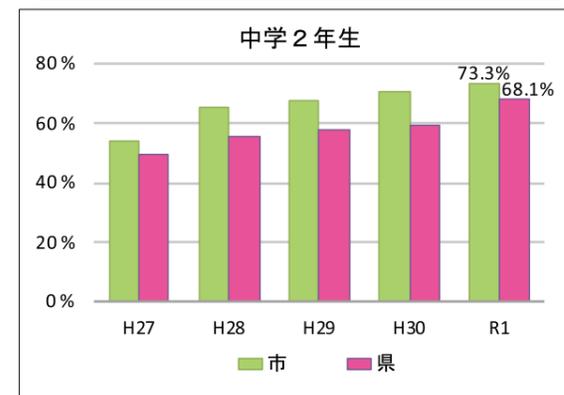
睡眠不足による集中力の低下や、学力の低下が心配されます。

持っている子どもの割合は？



自分専用のスマホなどを持っている小学5年生は43%、中学2年生は73%で、年々増えていることが分かります。
「家族のスマホなどを使っている」と答えた子どもと合わせると、小学生で73%、中学生で85%に上ります。
岡山県が、県内の公立小中学校から抽出して行った調査の結果と比べると、小中学生ともに市内の子どもの所持率が上回っていました。

自分専用のスマホを持っている



気になる

スマホなどを持ったきっかけ

- ・家族との連絡のため (Ⓐ75.6% ㊦67.5%)
- ・親が持たせてくれた (Ⓐ43.1% ㊦45.4%)
- ・友だちと話すため (Ⓐ26.5% ㊦45.7%)

学習塾や習い事の迎えの連絡の他に、子どもの居場所の確認など、安全のために持たせている保護者も多いようです。

グラフと数値は令和元年度調査結果（津山市）